

あなたの会社の決算書
銀行はどこを見て、何を観て
あなたの会社をどう診ているか!?

銀行が
とても身近
になって
くる!!

「銀行が診る決算書のポイント」のご案内

～講師の長年の実務と経験から”銀行の本音”が聞こえてきます～

中小企業を取り巻く環境は厳しさを増していますが、中小企業の持続的な発展と成長を図るには、企業の中核を担う人材の育成がますます重要となっています。

このため、(公財)やまぐち産業振興財団では、山口県を牽引する企業への成長に向けて、県内中小企業の中核人材の育成を図るため、経営者、経営幹部及び中堅社員の方を対象として中核人材育成研修「銀行が診る決算書のポイント」を開催します。本講座では、銀行内での決算書の取り扱いプロセスと、どのような点を重視して融資判断が行われているのかを実例を通して学ぶとともに、今後の自社の資金繰りの安定化や更なる成長につなげる決算書のあり方を具体的に習得します。

ぜひ、ご参加いただきたくご案内いたします。

■対象：県内中小企業の経営者、経営幹部の方及び中堅社員等

■開催期間：令和2年7月7日(火)
(9:30～16:30)で実施します。

■開催場所：翠山荘(山口市湯田温泉3-1-1)
2F フリーシア

■定員：15名程度

■参加費：無料

■申込方法：専用サイトからのお申し込みください。

<https://www.ymg-hrd.jp/>

別紙申込書に記入の上、FAXでのお申し込みも可能です。

■申込締切：令和2年6月30日(火)
先着順に受付し、定員になり次第締め切ります。

■注意事項：
・飲食は、各自で対応いただきます。
・各研修は、1社2名までのお申し込みとさせていただきます。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響にて、やむを得ず研修の予定を変更または中止する場合があります。

最新の情報については、当財団研修サイトをご確認ください。

参加当日は、研修サイトに記載してある感染予防にご協力をお願いいたします。

■講師：株式会社Kプランニング(広島市) 代表取締役 こばやし まさかず 小林 正一 氏



岡山大学卒業後、地場金融機関へ入行。マツダ関連会社へ経理部次長として出向、3ヶ店の支店長、コンサルティング会社の経営指導部長、融資部主任審査役を経験後独立。再生支援協議会、地元の金融機関からの再生案件に多数従事。顧問先も多く実際の経営に関与している。日本政策公庫、第二地銀協、全国信用金庫協会などで支店長研修や事業性評価の講師を務めている。昨年度財団でも「思いっきり財務研修」等を担当し高評価を得ている。

【中小企業診断士、社会保険労務士、広島県中小企業再生支援協議会専門委員】

■研修内容・カリキュラム：

1、銀行が決算書を求める理由

- ①決算書でわかること
- ②提出後の決算書の取り扱いプロセスと課題
- ③決算書が必要な理由(融資判断プロセスの理解)
- ④決算書を見ない2つのケース

2、相違する診る対象

- ①目的の相違
- ②時代の相違(金融庁の行政方針とマイナス金利政策)

3、決算書の診るポイントと理由

- ①貸借対照表の診るポイントと理由
- ②損益計算書の診るポイントと理由
- ③診るべきなのに診ていないもの

4、自社の成長に必要な決算書とは

- ①決算書は人(銀行・税務署)に見せるものという認識
- ②決算書は出来るものではなく創るものという認識
- ③貸借対照表を重視した損益計画の重要性

5、具体的な決算書作成

- ①やってはいけないこと(粉飾)
- ②損益計算書から貸借対照表が説明できる決算書
- ③辻褄の合う決算書
- ④キャッシュ・フロー計算書を理解した決算書

6、事例に学ぶ決算書作成のポイント

※研修終了後にアンケートのご協力をお願いいたします。